

常任委員会審議

総務

建設経済厚生

予算決算

上程された議案は、それぞれ所管の総務常任委員会、建設経済厚生常任委員会及び予算決算常任委員会に付託し、審議を行いました。

職員採用

議案第 32 号 加西市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の制定について

問 任期付職員の採用による、人材育成の効果について。

答 現在市が取り組んでいる事業に、担当と連携して業務を行ってもらうことを考えています。また、知識や経験のある者と一緒に連携を図りながら事業を進めていくことで、携わる職員はスキルアップにつながり、人材育成の効果も出ると考えています。

問 恣意的に制度が運用される懸念もあるが、採用方法はどうか。

答 採用については、公明正大、透明性を明確にするため、選考委員会を設けて、専門的なところも判断していただけるように顧問等も入っていただき、また専門知識のある専門家を招聘し、選考委員会の中で議論して選考していきたいと考えています。

産業団地

議案第 38 号 財産の取得について

問 加西インター産業団地整備事業は、東高室地区のように民間業者が開発することは出来なかったのか。

答 加西インター産業団地整備は農村産業法の手法を用いて行っており、実施計画は市が定めることになっていることから、市の主導で行う必要がありました。

問 1-2 工区は市が用地を直接買収し、1-1 工区は兵庫県土地開発公社が買収した用地を市が買い戻すことから、企業への売却単価が違ってくるのではないかと。

答 1ヘクタールの区画ごとの売却も視野に入れて計画しており、1期工事分の全ての用地に関しては、同じ単価に設定しています。

建築基準

議案第 34 号 加西市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について

問 事業用地を売買ではなく事業用定期借地権とした理由について。

答 民間業者からは、買収では造成も含めて初期投資が高額になり、一方、定期借地権の場合は 30 年の期限が満了しても契約更新等が認められており、安心して事業が継続できるからであると聞いています。

補正予算

議案第 39 号 令和元年度加西市一般会計補正予算（第 2 号）について

問 消防団団員数の増減について。

答 平成 30 年度の団員数は 1,404 名で、平成 31 年 3 月 31 日での退職者は 103 名あり、平成 31 年 4 月 1 日付けの新入団員が 87 名であったため、本年度は前年度より 16 人少なく、また条例定数より 30 人少ない 1,388 名です。

問 トライアスロン PR 動画作成委託について。

答 これまでの大会では、兵庫県や大阪府からの参加が中心であったことから、全国各地から参加していただけるように、令和 2 年度開催の大会に向けての PR として作成します。この PR 動画では、ため池を使った全国的にも非常に珍しい大会であることや、自転車やランニングコースが平坦で走りやすく、トライアスロンの初心者でも参加しやすい大会であることをアピールします。また、加西の自然や田園風景等、加西市のよさを全国のトライアスリートに発信し、多くの人に来ていただくことで、観光等への経済効果も生み出せるように作成していきたいと考えています。